

今月の主なニュース

神奈川県予防医学協会における
採血関連合併症の発生状況と
安全・安心の取り組み

神奈川県予防医学協会 三浦 猛

神奈川県アサティブコミュニケーション
アサティブコミュニケーション
NPO法人アサティブジャパン認定講師 森田栄子

「保健室」
藤沢市立湘洋中学校 櫻井 陽子

ピンクリボンかながわ
横浜市水道局から感謝状



治療と仕事の両立支援

労働者の高齢化と30〜40歳代の女性の就業率の増加（乳がん・子宮がんの罹患）により労働者のがん罹患は増し、治療技術の進歩によって就業可能なケースが増えている。現在、「治療と仕事の両立支援」が企業・団体に求められている。今号では労働衛生コンサルタント事務所オークス所長・竹田透産業医に企業が果たすべき両立支援の要点を解説してもらった。

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）や仕事と子育て・介護の両立など、仕事とプライベートの生活に焦点をあてたさまざまな取り組みが進められています。その中でも、「治療と仕事の両立支援」は、働き方改革実行計画の大項目にもなっており、がん対策の1つとしてマスコミにもしばしば取り上げられ、社会的にも注目されています。

一方、産業保健の現場では、メンタルヘルス不調者の復職支援をはじめ、疾病やケガで休職した労働者の就業配慮という形で産業保健活動の1つとして実践されてきました。

この両立支援の定義は平成24年8月に公表された「治療と職業生活の両立等の支援に関する検討会報告書」に次のように定義されています。

「治療と職業生活の両立とは、病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら、生き生きと就労を続けられることである」。

がん対策と両立支援

さて、がん対策の1つとして両立支援の取り組みは、平成24年に策定された第2期がん対策推進基本計画に、重点的課題の1つとして「働く世代や小児への

人財を守り

社会責任を果たす

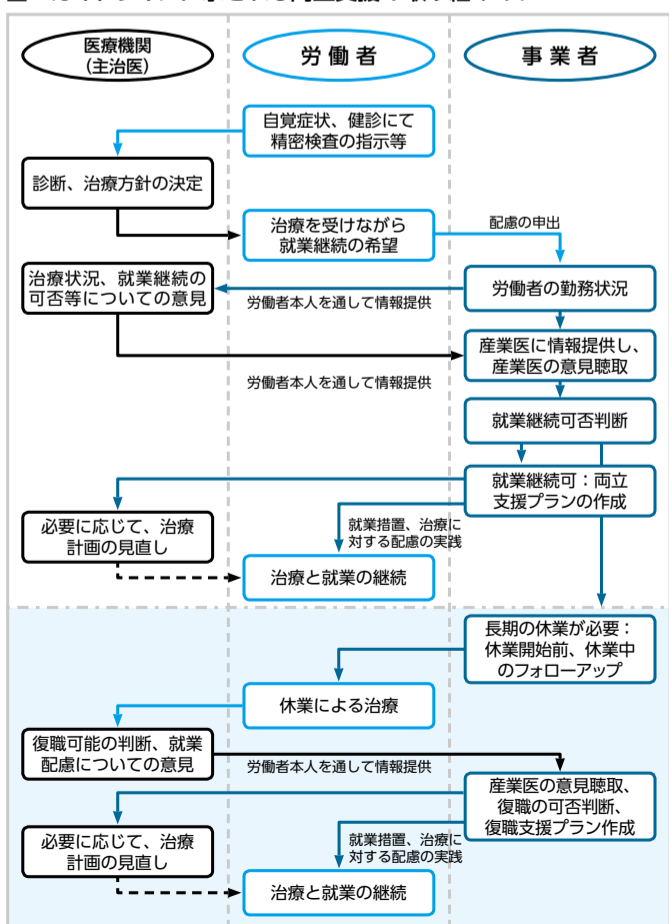
がん対策の充実」が追加され、職場における理解の促進、相談支援体制の充実を通じて、がんになっても安心して働き暮らせる社会の構築を目指す、としたことが大きなきっかけになっています。このがん対策推進基本計画は、がん対策基本法に基づいて策定され、国

産業保健における両立支援

の進歩に伴う治療後（あるいは治療中）に就業可能なケースが増えていること、がん罹患率が高まる60歳以上の労働者の増加、そして乳がんや子宮がんの罹患率の高い30〜40歳代の女性の就業率の増加などが要因にあげられています。

労働安全衛生法で定められている定期健康診断の実施後には、事業者は医師に就業について意見聴取を行うことが義務づけられていますし、受診勧奨を含めた保健指導も努力義務として定められています。職域には、高血圧や脂質異常症、糖尿病をはじめとしたさまざまな疾患について治療を受けながら就業している労働者は少なくありません。仕事の忙しさのために受診

図 ガイドラインに示される両立支援の取り組みのフロー



できずに疾病コントロールが不良となることや、症状や治療の副作用などによって就業に影響が出る場合もあります。健康診断の事後措置を適切に行うことは、これらのケースに適切に対応することになり、まさに治療と仕事の両立支援といえます。

また、メンタルヘルス不調者をはじめとした疾病休業した労働者の復職支援でも、主治医と連携をとりながら、治療の継続と体調に合わせた就業配慮を行い、健康状態と就業能力の回復を図る取り組みをしています。このように治療と仕事の両立支援は、もともと産業保健活動の1つといえます。

両立支援の実践

両立支援の実践にあたっては、平成28年2月に公表された「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を参考にすることができ、このガイドラインには、職場における意識啓発や、治療と職業生活を両立しやすい休暇制度・勤務制度の導入などの環境整備とともに、両立支援の具体的な取り組み方が示されています。また、事業所と主治医との連携にあたっての各種書式例も添付され、企業・医療機関の連携のためのマニュアルも示されています。

このガイドラインに示される取り組みのフローを左図にしました。労働者、事業者、主治医が、治療と仕事の両立のために密な連携を図っていくことが重要となります。就労や治療に関連する情報を相互に伝え、その情報を治療、就業配慮に役立てていきます。

このフロー図を見ると手続が煩雑のように見えますが、綿密な連携が支援の質を高めることにつながります。

ガイドラインを含め両立支援に関する情報は、「治療と仕事の両立支援ナビ」(https://chiryoutoshingo.mhlw.go.jp/site/index.html)に集約されていますので、このサイトを通じて情報を収集することができます。